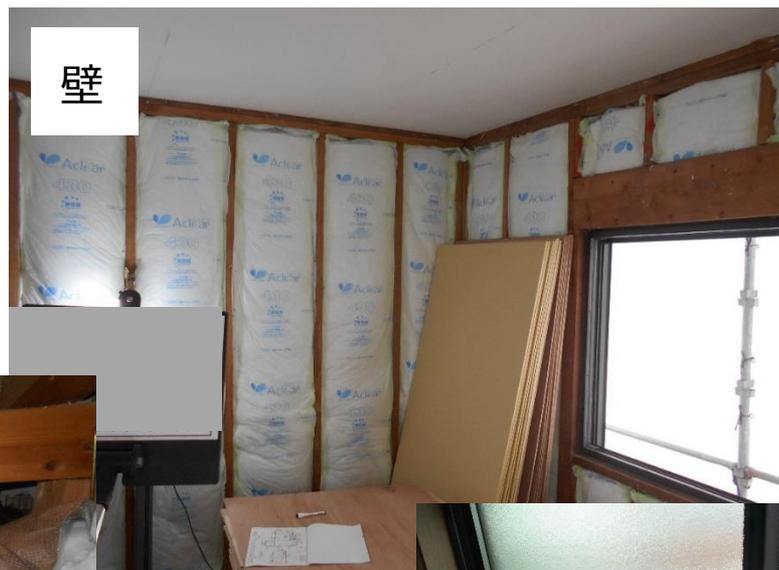


断熱リフォーム

令和5年度助成金制度

2023年5月11日 株式会社テイキング・ワン





1 低断熱住宅のリスク



寒い家に住んでいると生じる

さまざまな弊害

①暖房費がかかる

前年同月比（総務省資料）

	2023年1月	
	前年同月比(%)	寄与度
エネルギー	14.6	1.17
電気代	20.2	0.75
都市ガス代	35.2	0.35
プロパンガス	6.3	0.04
灯油	4.3	0.02
ガソリン	0.4	0.01

低断熱の室内で冷暖房をしても外に放出されるため、エネルギーの垂れ流し状態となる。

- ・室内空気の汚損
- ・火災発生リスク 等

②健康被害

室温が16℃を下回ると影響

- ①16℃未満 呼吸器系疾患
- ②9-12℃
血圧上昇／心臓血管疾患
- ③5℃ 低体温症



英国では寒い家には改善命令・・・基本的人権
（英国の室温基準：最低でも18度以上）

日本の家【国交省調査】平均年齢57歳の住居2000戸

- ・廊下、脱衣所の平均値→約12度
- ・居間でも16度
（居間では6割、寝室・脱衣所は9割もの家が18度に達していない）

③環境リスク

高断熱住宅に住むと抑制・緩和

- ・気管支ぜんそく
- ・アトピー性皮膚炎
- ・夜間の頻尿
- ・脳や筋肉の老化

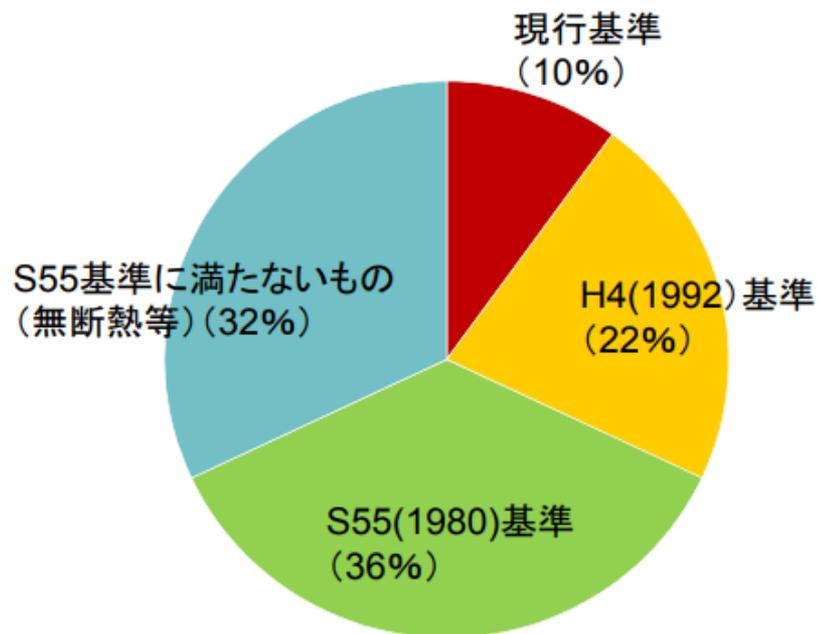
既存住宅の約70%が 無断熱または低断熱住宅

昭和55年基準以降の戸建住宅でも、断熱材が入っていない住宅がある
という事実

いまや既存住宅の断熱性を考慮したリフォーム工事は不可欠です。



【H29 住宅ストック約5,000万戸の断熱性能】



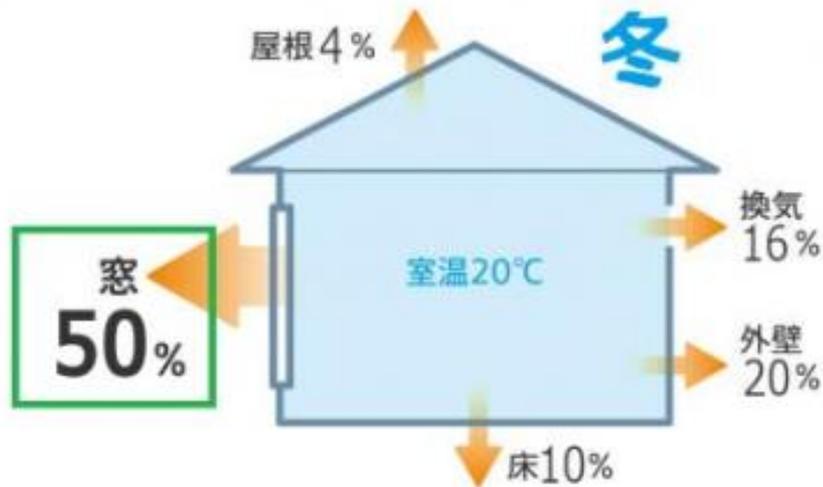
外皮面でもっとも外気の影響を受けるのは「窓」

ただし、窓だけを断熱改修しても、壁床天井が無断熱だと外気の寒さ・暑さは常に室内に伝わってきます。

とくに床下は空気を通してあり冷気が常時流れているので、せっかく窓断熱で暖まった部屋も、足下はしびれるような冷たさとなりかねません。

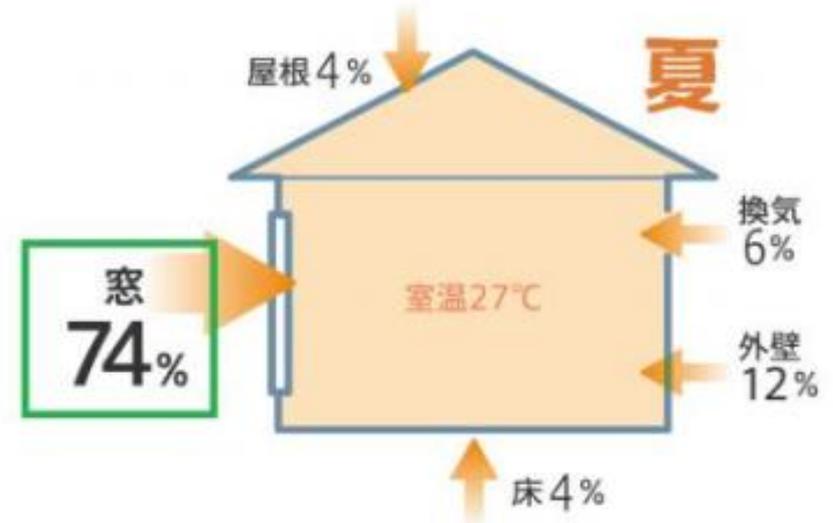
冬に流出する熱の割合 (外気温2.6℃)

2月14日 5~6時(日平均外気最低日)、東京



夏に流入する熱の割合 (外気温34.8℃)

8月5日 14~15時(日平均外気最大日)、東京



リフォームで、暮らしはずむ

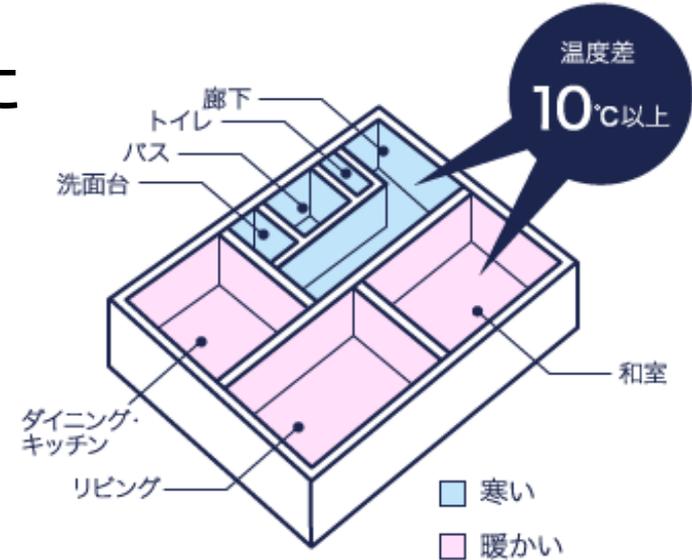
TOTOリモデルサービス

リビングなどの居室のみ断熱改修をした場合

リビングだけ暖かくすると、部屋を出たときにヒートショックを起こす可能性があります。

厚生労働省人口動態統計(令和3年)によると、高齢者の浴槽内での不慮の溺死及び溺水の死者数は4,750人で、交通事故死者数2,150人のおよそ2倍特に65歳以上の高齢者の死亡事故が多く、毎年11月から4月にかけて多く発生。

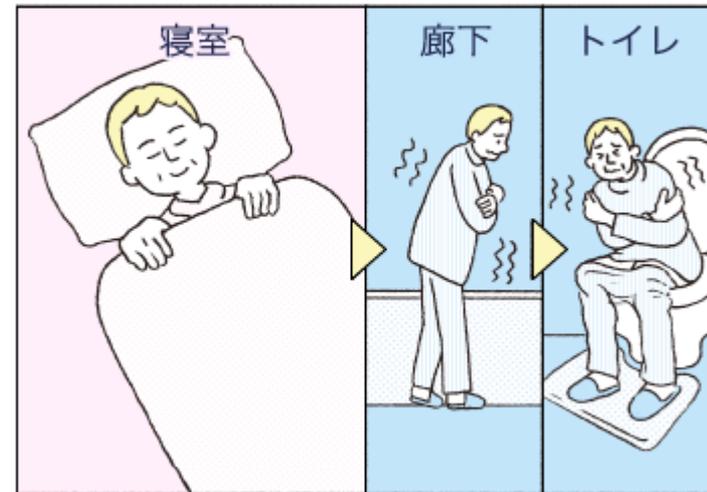
ヒートショックは、浴室のみならず、洗面、玄関、廊下など、室内のあらゆる場所で起こります。



暖かい居室から寒い浴室へ



暖かい布団の中から寒いトイレへ



※室内の温度は住まいの立地や構造などによって異なるためあくまで目安となります。

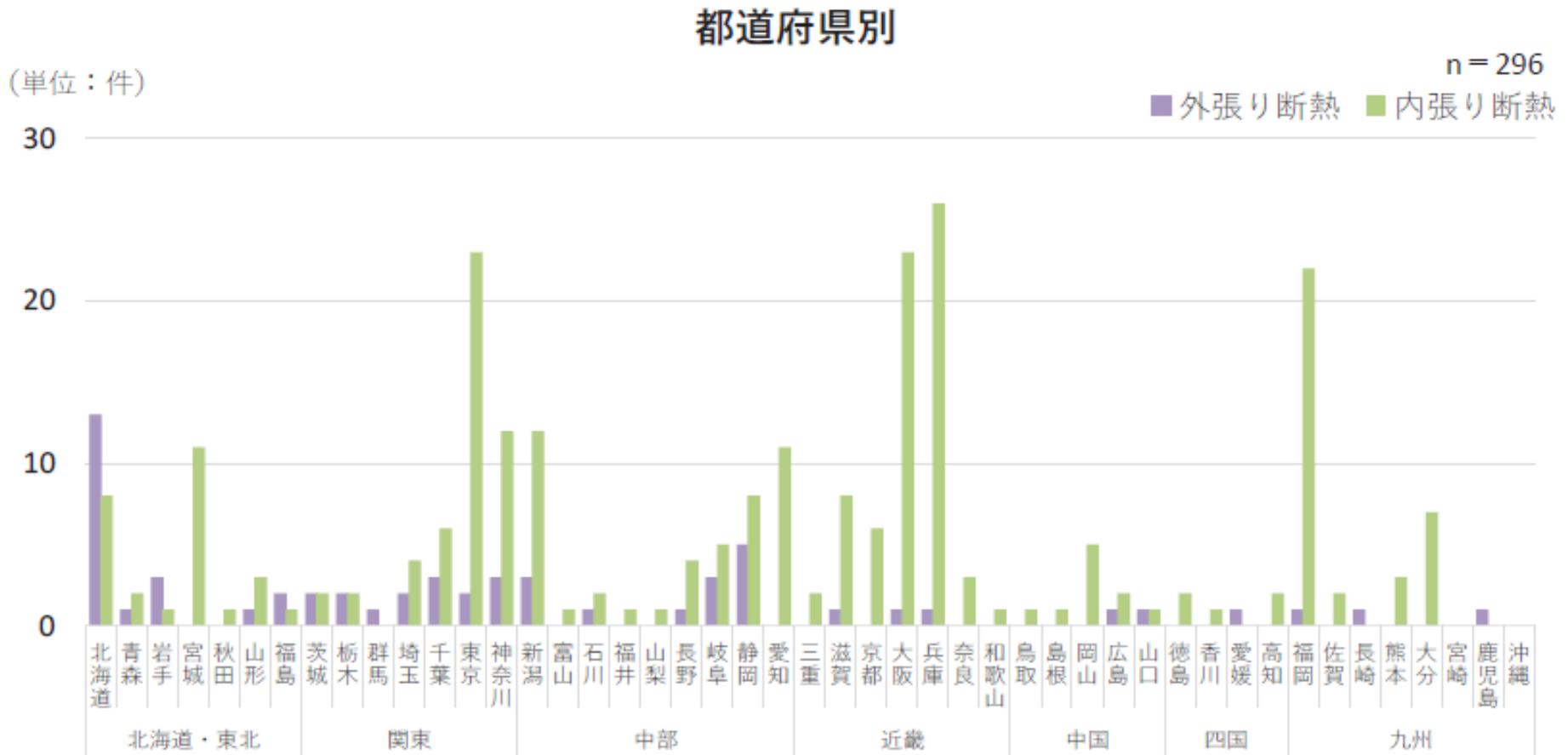
2 市場の動向



令和3年度 次世代省エネ建材 調査報告書

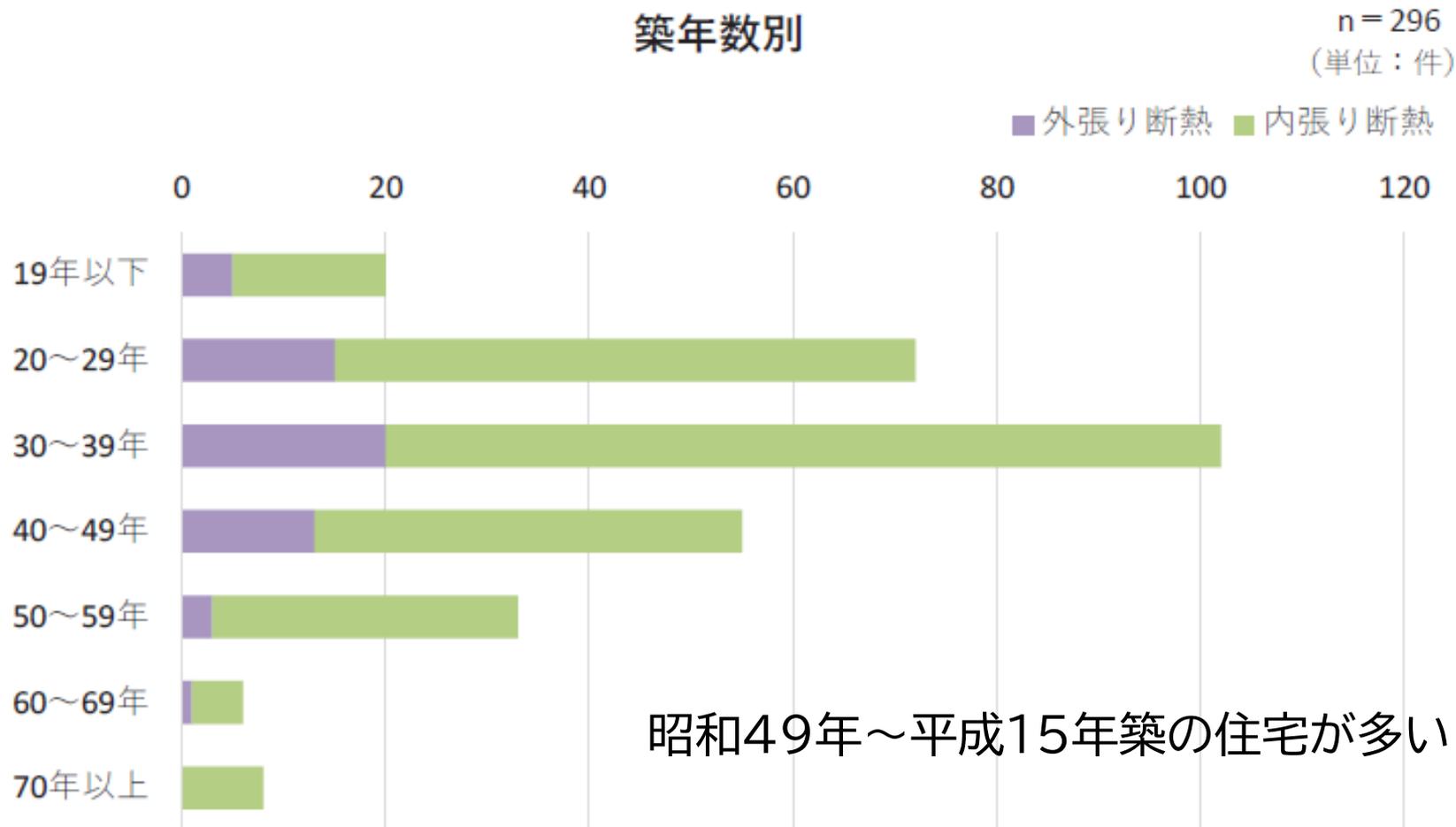
1-2-2. 都道府県別 交付決定件数の分布

▶ 都道府県ごとの交付決定件数の分布は以下のとおり。



1-2-4. 築年数別 交付決定件数の分布

➤ 築年数ごとの交付決定件数の分布は以下のとおり。



2-2-3. リフォーム工事の計画当初から断熱改修工事の実施を予定していたか？

- リフォーム計画当初から断熱改修工事の予定をしていた事業者は、外張り断熱では全体の60%程度。
- 一方、内張り断熱では、全体の80%を占める。

	n	リフォーム計画当初から 予定していた	リフォーム計画当初は 予定していなかった（検討 を進める中で追加した）
外張り断熱	(52)	63.5%	36.5%
内張り断熱	(184)	80.4%	19.6%
総計	(236)	76.7%	23.3%

検討を進める中で 断熱改修工事を追加した理由（抜粋）

- 築年数がたっており、一重窓であったため、断熱はすべきと考えた。
- 光熱費等、高くなったため。
- 室内の暑さ寒さ対策で必要と感じた。
- 予算的にあきらめていたが、補助金があると知ったため。

2-2-8. 断熱改修工事を実施したきっかけ

- 断熱改修工事を実施したきっかけとして、外張り断熱では「リフォーム業者（工務店）に薦められたから」と回答した事業者が全体の63.5%と最も多い。
- 一方、内張り断熱では、「自ら調べて実施した」と回答した事業者が多く、全体の66.7%。

	n	自ら調べて実施した	家族・知人・親戚などに 薦められたから	リフォーム業者（工務店） に薦められたから	その他
外張り断熱	(52)	21.2%	11.5%	63.5%	3.8%
内張り断熱	(183)	66.7%	6.0%	26.2%	1.1%
総計	(235)	56.6%	7.2%	34.5%	1.7%

2-2-16. 断熱改修工事の満足度

- 断熱改修工事について「満足」「やや満足」と回答した事業者は、外張り断熱と内張り断熱ともに、全体の90%以上。

	n	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
外張り断熱	(51)	62.7%	29.4%	2.0%	2.0%	3.9%
内張り断熱	(179)	51.4%	42.5%	5.6%	0.6%	0.0%
総計	(230)	53.9%	39.6%	4.8%	0.9%	0.9%

2-2-18. 断熱改修工事後の状況

- 断熱改修工事後の状況について、外張り断熱と内張り断熱ともに、「暖かく快適に過ごせるようになった」と回答した事業者が最も多い。
- 外張り断熱では、内張り断熱に比べて、「トイレやお風呂などの水回りの寒さが気にならなくなった」と回答した事業者の割合が、30ポイント以上高い。

	n	暖かく快適に 過ごせるように なった	トイレやお風呂な ど水回りの寒さが 気にならなくなっ た	カビや結露の発生 がなくなった	各部屋の寒暖差が 解消され、 ヒートショックの 心配が減った	暖房の使用頻度が 減り、光熱費（電 気代、ガス代な ど）が安くなった	遮音性が上がり、 外の音が 気にならなくなった	その他	不満を感じる
外張り断熱	(50)	92.0%	66.0%	34.0%	58.0%	48.0%	36.0%	8.2%	14.3%
内張り断熱	(178)	87.6%	35.4%	44.4%	34.5%	24.9%	48.3%	4.5%	6.8%
総計	(228)	88.6%	42.1%	42.1%	39.5%	29.8%	45.6%	5.3%	8.3%

報告書から読み取る消費者動向

①補助金については、消費者みずから調べた上で施工業者を探している。

ただし外張断熱のような全体断熱は施工事業者からの提案で実施する例が多い。

②部分断熱よりも全体断熱の方が満足度が高い。

③断熱リフォームの需要は多いが、きっかけが必要。

「補助金利用 & 施工事業者からの提案とすすめ」が強力な後押しとなる。

3 断熱改修補助金制度

- ①リフォーム工事
 - ②戸建住宅
- についての説明です



5/11現在公募中の制度

補助額最大(戸建住宅)

トータル断熱/居間だけ断熱 既存住宅における断熱リフォーム支援事業(北海道環境財団) 3月20日~6月16日 交付決定後に契約および着工可		120万円 下限設定なし
【福岡県】福岡県既存戸建て住宅断熱改修費補助金 4月3日 公募スタート。交付決定後に契約および着工可		120万円 下限設定なし
三省連携補助事業	こどもエコ住まい(国交省)	30/45/60万円 下限5万円または2万円
	先進的窓リノベ(経産/環境)	200万円 下限5万円
	給湯省エネ(経産省)	5/5/15万円 下限設定なし
評価基準型/認定型 長期優良住宅化リフォーム(国交省) 4月7日スタート。事業者登録後、住宅登録すれば着工可		100/150/250万円 下限10万円
次世代省エネ建材(環境省)外張断熱/内張断熱/窓断熱 昨年度は5月公募スタート、交付決定後に契約および着工可		200/300/400万円 下限20万円

既存住宅における断熱リフォーム支援事業

<https://www.heco-hojo.jp/danref/competition.html>



個人情報の取り扱いについて

ホーム | 事業トップ

公募情報

補助対象となる製品

説明会情報

交付決定を受けた方へ

様式集

お問い合わせ

ホーム / 既存住宅における断熱リフォーム支援事業 / 公募情報

公募情報【令和5年3月公募】

<申請方法>

申請にあたっては、次の手順で行ってください。

1. 公募要領、交付申請書類の記入例、申請様式 をダウンロード
2. 公募要領の申請要件、交付申請書類の記入例を確認しながら、申請様式に必要事項を入力
3. 関係書類を取りまとめのうえ、メール等で申請

公益財団法人北海道環境財団は、環境省の補助金「既存住宅における断熱リフォーム支援事業」の執行団体として、[交付規程](#)に基づき、全国を対象に公募を実施しています。

補助金ご利用の際には、右の画像をクリックしてご確認ください。

現在、次の2つの公募を行っています(同時にはご利用できません)。

断熱材、窓、ガラスを用い、住まい全体での断熱改修 ⇒ トータル断熱

窓を用い、居間をメインに断熱改修 ⇒ 居間だけ断熱

既存住宅における断熱リフォーム支援事業

補助金の利用にあたり、次のことに注意願います。

★交付決定前に「**築設・竣工・施工等**」を行うと、補助金の交付対象になりません。
※断熱工事、足場設置等の付帯作業は行われていても構いません。

★施工前・後写真には、必ず**事業番号**を記入した
ボード等を貼って撮影してください。
なお、写真がないと補助金が交付できません。
※施工写真には必ず実印を捺印してください。(事業番号、住所、日付の記載が必須です。)

★出府型経費は、北海道環境財団が**指定する様式
(次書様式B)**を必ず使用してください。

★定額報告アンケートについて★

補助金を交付した断熱改修・断熱工事(4年以上経過)は事業終了後
2年間、定額報告アンケートを提出する義務が課せられます。
(アンケート結果は報告に際してのみ見ます。)

三省連携事業は「住宅省エネ2023キャンペーン」のポータルサイトで「事業者登録申請」が必要

<https://jutaku-shoene2023.mlit.go.jp/>



各事業の詳細はそれぞれのページで確認できます。



■ 予算に対する補助金申請額の割合(概算値)※

※各事業それぞれ、補助金申請額が予算上限(100%)に達し次第、交付申請(予約含む)の受付を終了します。



長期優良住宅化リフォーム支援事業

<https://www.choki-r-shien.com/r5/index.html>

[リンク先へ移動](#)

令和5年度

長期優良住宅化リフォーム推進事業 交付申請等手続きのご案内

※このは長期優良住宅化リフォーム推進事業実施要綱等のホームページであり、交付申請手続きを行うために必要なマニュアルや様式等を公表するものです。

本事業に関する全体的な制度については、長期優良住宅化リフォーム推進事業（総合トップページ）を参照して下さい。

- 事業者登録が完了する前に締結した工事発注契約等は本事業の補助対象外です。補助対象とする工事発注契約等は必ず事業者の判断に締結して下さい。
- 住宅登録が完了する前に着工したリフォーム工事は本事業の補助対象外です。補助対象とするリフォーム工事は必ず住宅登録後に着工して下さい。
- 令和5年度より全林設計（2カ年申請）の場合も、住宅登録後にリフォーム工事に着工可

※本事業では下のフロー図のように、交付申請前にアカウント発行等の手続きが必要となります。これらの手続きがお済みでない方は、上のボタンから各手続きをお進みいただけます。

アカウントを
お持ちでない方はこちら

事業者登録・住宅登録をするためにアカウント発行が必要です

アカウントをお持ちで
事業者登録・住宅登録がまだの方はこちら

交付申請の前に事業者ポータルサイトにログインが必要です

■本事業の交付申請手続きまでの流れ

アカウント発行

事業者登録
(事前報告タイプの方は既済済)

住宅登録

交付申請

- 本事業補助金の活用をお考えの方は必ずマニュアルをお読みください。
- 最新の情報はこちらのページでお知らせいたします。

事業に対する執行状況：評価基準型（前年申請タイプ）

0%

0%

100%

事業に対する執行状況：長期認定型（前年申請タイプ）

0%

0%

100%

※執行状況は令和5年6月1日より更新します。

次世代省エネ建材支援事業

https://sii.or.jp/medi_material05/

令和5年度 次世代省エネ建材の実証支援事業

その他の事業

次世代建材

事業トップ >

新着情報一覧 >

調査報告（令和4年度） >

公募情報 >

交付決定を要けん方へ >

補助対象製品公募について >

補助対象製品一覧 >

新着情報

令和5年04月06日（木） **NEW**

令和5年度「次世代省エネ建材の実証支援事業」について、対象製品の公募を開始しました。

令和5年度「次世代省エネ建材の実証支援事業」について、対象製品の公募要綱を公開しました。

一覧を見る



事業趣旨

既存住宅における消費者の多様なニーズに対応することや省エネ改修の促進が期待される上、耐震補修可能な省エネ建材や、快適性向上にも資する断熱・気密建材等の次世代省エネ建材の効果の実証を支援する。



福岡県既存戸建て住宅断熱改修費補助金

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dannetu-hojo.html>



文字サイズ・背景色変更

音声読み上げ

Foreign language



テーマから探す

目的から探す

組織から探す

Google 検索

検索

[トップページ](#) > [防災・くらし](#) > [住まい\(土地・建物\)](#) > [建物情報](#) > 令和5年度「福岡県既存戸建て住宅断熱改修費補助金」を開始します。

令和5年度「福岡県既存戸建て住宅断熱改修費補助金」を開始します。

更新日:2023年4月11日更新



情報が見つからない時は

このページを見た人は
このページも見ています

[令和5年度「リノベーション推進事業補助金」の受付を開始します。](#)

[木造戸建て住宅を対象とする耐震化促進の取組み](#)

[福岡県内での発生状況について\(1/10更新分\)](#)

[住宅の省エネルギーに関する制度について](#)

[ふくおか県産材まづくり推進助成制度](#)

断熱改修工事の実施で、最大120万円(補助率1/3)まで補助が受けられます。

令和5年度「福岡県既存戸建て住宅断熱改修費補助金」

福岡県では、脱炭素社会の実現に向けて既存住宅の省エネルギー化を促進するため、既存戸建て住宅の断熱性能を向上させる改修工事等に要する経費の一部を補助します。

事業目的

■ 各制度の「必須要件」で考える ■

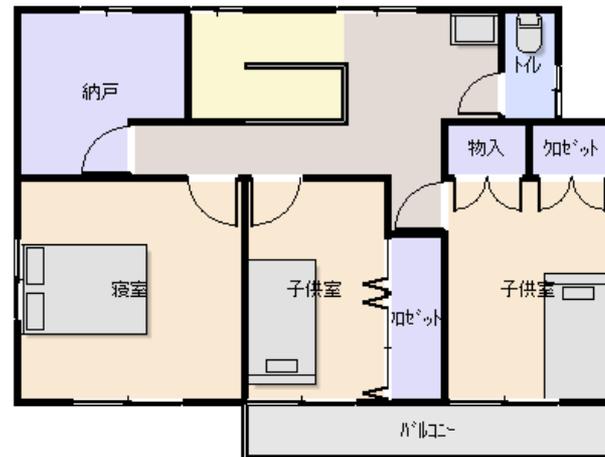
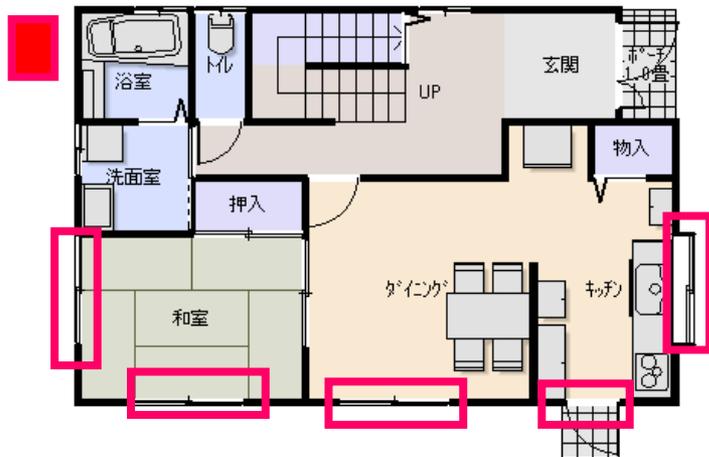
		「開口部」対象製品	断熱材 / 給湯器	他の製品
既存住宅における断熱リフォーム支援事業		内窓：一般ガラス複層以上 窓：アルミ樹脂複合窓 / 樹脂窓 Low-e 複層ガラス以上 【必須】 居間を含む最低改修率を満たす	断熱材：グラスウール以上 (R値：外壁天井 2.7・床 2.2) 給湯器：なし	玄関ドア 熱貫流率 4.65 以下 家庭用蓄電システム等
【福岡県】 既存戸建て住宅断熱改修費補助金 福岡県内の戸建て住宅（他県の施工業者可） 耐震性必須		内窓：一般ガラス複層以上 窓：アルミ樹脂複合窓 / 樹脂窓 Low-e 複層ガラス以上 【必須】 居間を含む最低改修率を満たす	断熱材：グラスウール以上 (R値：外壁天井 2.7・床 2.2) 給湯器：別枠で有	玄関ドア 熱貫流率 4.65 以下
三省連携	こどもエコ住まい	内窓：単板ガラス以上 窓：複合窓 一般ガラス複層以上	断熱材：最低使用量以上 給湯器：高効率給湯器	玄関ドア・高断熱浴槽・節湯水栓・節水便器その他
	先進的窓リノベ	内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：樹脂窓・複合窓ガス入り	↑ 【必須】 申請額 5 万円以上 ※ただし先進的窓リノベで 5 万円以上 ← 上の申請とあわせてこどもエコ住まいを申請する場合はこどもエコ住まいは 2 万円以上の申請で可 省エネ改修	
	給湯省エネ		家庭用燃料電池・ハイブリッド給湯機・ヒートポンプ給湯機	
長期優良住宅化リフォーム 【必須】 LDK とその他居室 1 室以上の開口断熱 + 高効率給湯器等		内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：アルミサツ・Low-e 複層ガラス以上 ガラス：日射熱取得率 0.74 (0.49) 以下	断熱材：グラスウール以上 (R値：外壁床 2.2 天井 4.0) 給湯器：高効率給湯器等	玄関ドア・高断熱浴槽・節水便器・耐震改修・屋根葺替え・外壁塗装 等
次世代省エネ建材		内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：アルミ樹脂複合窓以上の雨戸、シャッター、面格子付 もしくは防災・防火窓、樹脂窓	【必須】 居室に断熱ボード施工 断熱材：ボード系のみ (R値：床 2.2 天井 2.7) 給湯器：なし	玄関ドア 熱貫流率 2.33 以下 調湿建材

■長期優良住宅化リフォーム

省エネタイプB = LDKとその他居室の開口部 + 高効率給湯器

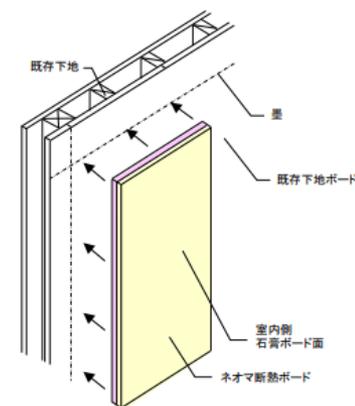
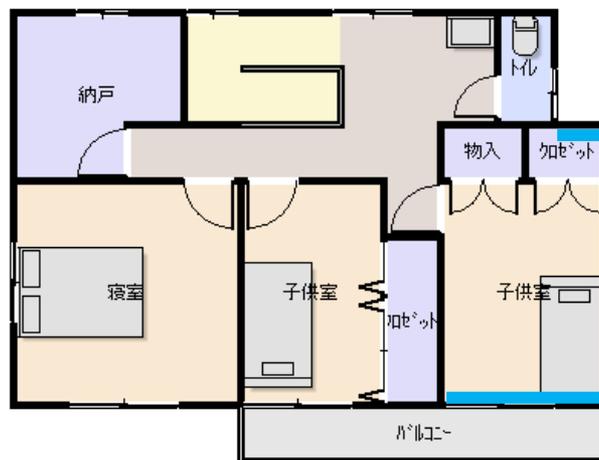
- ・インスペクション
- ・耐震性・浴室UB
- ・床下防蟻工事等

高効率
給湯器



■次世代省エネ建材 内張断熱

居室一室以上の壁or天井or床の外皮部分に、室内側から断熱パネルを設置



■ 窓交換(枠ごと交換/カバー工法)で考える ■

既存住宅における断熱 リフォーム支援事業	内窓：一般ガラス複層以上 窓：アルミ樹脂複合窓 / 樹脂窓 Low-e 複層ガラス以上 【必須】 居間を含む最低改修率を満たす	
【福岡県】 既存戸建て住宅 断熱改修費補助金 福岡県内の戸建て住宅（他県の施 工業者可） 耐震性必須	内窓：一般ガラス複層以上 窓：アルミ樹脂複合窓 / 樹脂窓 Low-e 複層ガラス以上 【必須】 居間を含む最低改修率を満たす	
三省 連携	こどもエコ住まい	内窓：単板ガラス以上 窓：複合窓 一般ガラス複層以上
	先進的窓リノベ	内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：樹脂窓・複合窓ガス入り
	給湯省エネ	(Content is partially obscured by a diagonal line)
長期優良住宅化リフォーム 【必須】 LDK とその他居室 1 室 以上の開口断熱 + 高効率給湯器等	内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：アルミサッシ・Low-e 複層ガラス以上 ガラス：日射熱取得率 0.74 (0.49) 以下	
次世代省エネ建材	内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：アルミ樹脂複合窓以上の雨戸、 シャッター、面格子付 もしくは 防災・防火窓、樹脂窓	

◀窓の選択肢が幅広い(登録製品から選択)

◀アルミサッシ窓が使えるが、時流にはそぐわない(登録製品から選択)

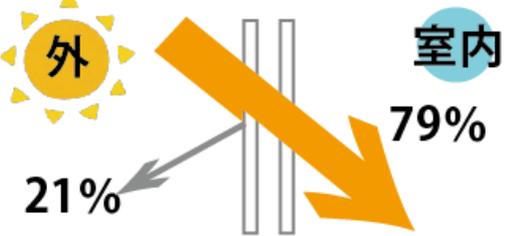
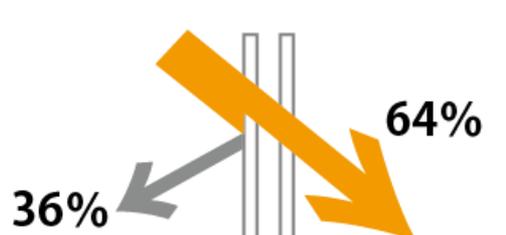
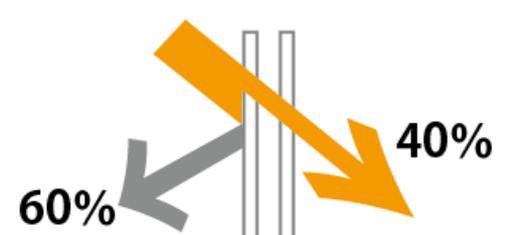
◀「樹脂窓」が標準なので、価格が高い製品のみが登録されている。ただし補助額も高いので、実質の支払い額はこどもエコより低くなる(登録製品から選択。戸建てのカバー工法はトリプルガラス)

◀アルミサッシ窓が使えるが、時流にはそぐわない(製品の選択は登録制ではない)
 日射熱取得率(窓0.59以下/ガラス0.73以下)に変更

◀アルミ樹脂複合窓が使えるが、雨戸や面格子等がついていない窓は「防災あわせガラス/防火窓」もしくは樹脂窓を選択(登録製品から選択)

窓交換を含む工事の場合は、お施主様の希望する「断熱グレードと予算」で制度を選択

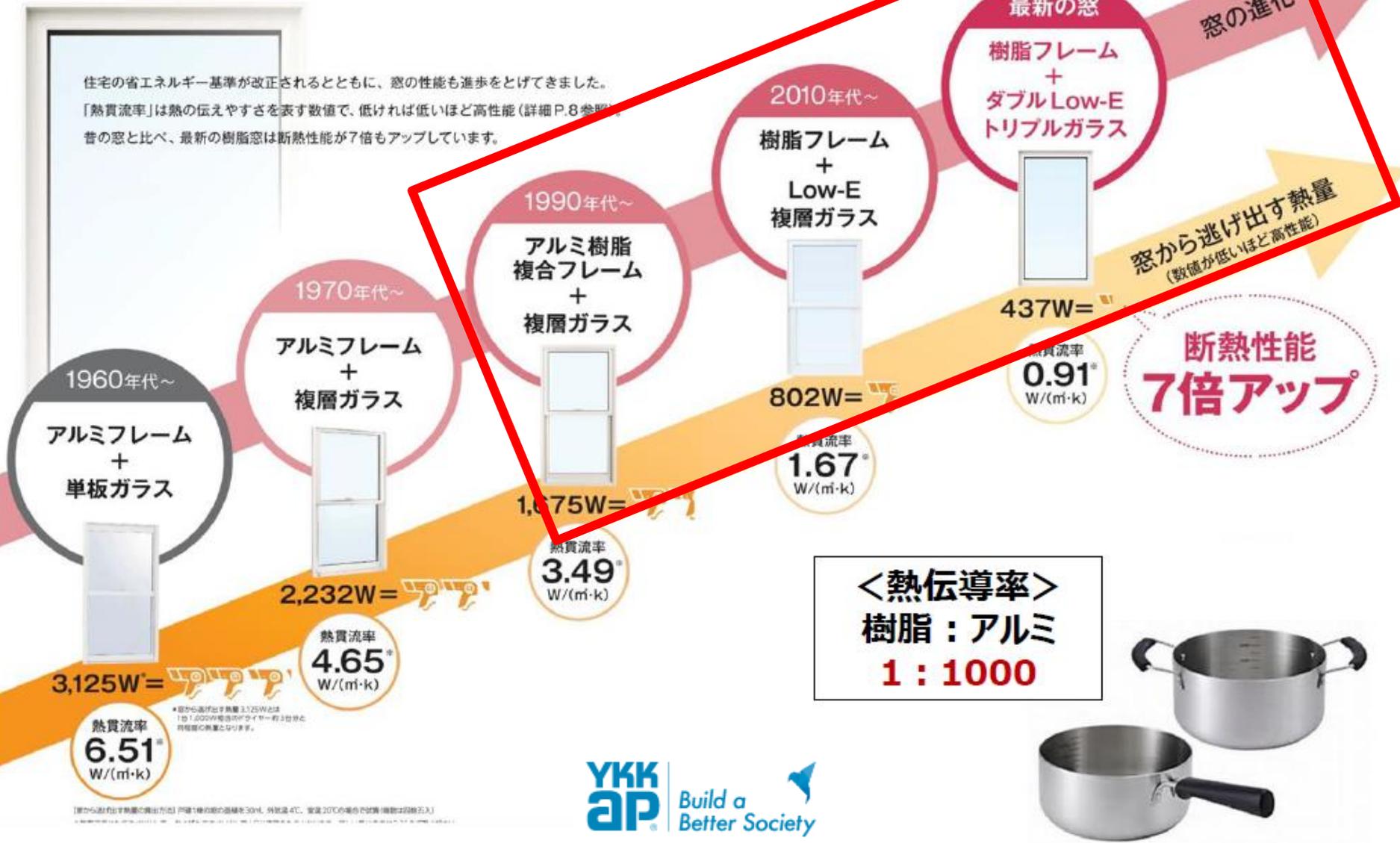
Low-e複層ガラスの日射遮蔽型は、エアコンの効きがよく、夏も省エネ

ガラスの種類	日射熱取得率	熱取得のイメージ
複層ガラス	0.79	 <p>外 21% 室内 79%</p>
Low-e 複層ガラス (日射取得型)	0.64	 <p>36% 64%</p>
Low-e 複層ガラス (日射遮蔽型)	0.40	 <p>60% 40%</p>

窓はここまで進化した。

住宅の省エネルギー基準が改正されるとともに、窓の性能も進歩をとげてきました。

「熱貫流率」は熱の伝えやすさを表す数値で、低ければ低いほど高性能（詳細P.8参照）。昔の窓と比べ、最新の樹脂窓は断熱性能が7倍もアップしています。



*窓から逃げ出す熱量は1.75Wとは1台1,000W電気の「ライターの約3台分の同時使用の熱量とります。

1)窓から逃げ出す熱量の算出方法: 戸建1棟の窓面積を30㎡、外気温4℃、室温20℃の場合の計算(換気は自然換気)



高性能な仕様が最もリーズナブルになる (アルゴンガス入)



複層ガラス仕様との比較

ガラス仕様	Uw	サイズ	公表価格 (23.1月改定後)	想定：EU 向け価格 (公表×0.7 +施工費)	先進的窓リノベ事業			先進的窓リノベ事業			こどもエコすまい (1・2・3地域)			
					S	~1.5		A	~1.9		ZEH：~1.9 省エネ：~2.3		補助額	EU 負担額
						補助額	補助率		EU 負担額	補助額	補助率	EU 負担額		
Low E (ガス入り)	~1.5	大	185,000	149,500	84,000	56%	65,500							
		中	100,800	86,600	57,000	66%	29,600							
		小	53,100	52,200	36,000	69%	16,200							
Low E	~1.9	大	162,900	134,000	対象外			69,000	51%	65,000	31,000	23%	103,000	
		中	87,700	77,400	対象外			47,000	61%	30,400	24,000	31%	53,400	
		小	49,500	49,700	対象外			30,000	60%	19,700	20,000	40%	29,700	
一般複層	~2.3	大	132,700	112,900	対象外			対象外			23,000	20%	89,900	
		中	71,100	65,800	対象外			対象外			18,000	27%	47,800	
		小	43,100	45,200	対象外			対象外			15,000	33%	30,200	

- ✓ 基本はLow-E一択
- ✓ ガス入りが標準でも良いレベル

■ 内窓で考える ■

(大)×2、(中)×1、(小)×4を設置した場合の補助金額のシミュレーション
(LIXILインプラス引き違いLow-e複層ガラス高遮熱タイプ)

既存住宅における断熱 リフォーム支援事業	内窓：一般ガラス複層以上 窓：アルミ樹脂複合窓 / 樹脂窓 Low-e 複層ガラス以上 【必須】 居間を含む最低改修率を満たす	100,000円	その他の必須工事が必要
【福岡県】 既存戸建て住宅 断熱改修費補助金 福岡県内の戸建て住宅（他県の施 工業者可） 耐震性必須	内窓：一般ガラス複層以上 窓：アルミ樹脂複合窓 / 樹脂窓 Low-e 複層ガラス以上 【必須】 居間を含む最低改修率を満たす	166,000円	
省 連 携 こどもエコ住まい	内窓：単板ガラス以上 窓：複合窓 一般ガラス複層以上	369,000円	窓以外の工事を しなくても申請 可能
先進的窓リノベ	内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：樹脂窓・複合窓ガス入り		
給湯省エネ			
長期優良住宅化リフォーム 【必須】 LDK とその他居室 1 室 以上の開口断熱 + 高効率給湯器等	内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：アルミサッシ・Low-e 複層ガラス以上 ガラス：日射熱取得率 0.74 (0.49) 以下	115,700円	その他の必須工事が必要
次世代省エネ建材	内窓：Low-e 複層ガラス以上 窓：アルミ樹脂複合窓以上の雨戸、 シャッター、面格子付 もしくは 防災・防火窓、樹脂窓	246,000円	その他の必須工事が必要

内窓だけの場合は先進的窓リノベが圧倒的におすすめ

断熱材工事で考える

既存住宅における断熱
リフォーム支援事業

断熱材：グラスウール以上
(R値：外壁天井 2.7・床 2.2)
給湯器：なし

【福岡県】既存戸建て住宅
断熱改修費補助金

福岡県内の戸建て住宅（他県の施
工業者可）耐震性必須

断熱材：グラスウール以上
(R値：外壁天井 2.7・床 2.2)
給湯器：別枠で有

◀ 断熱材はグラスウールからボード系、吹き込み系など幅広い。
ただし壁の熱抵抗値2.7以上なので、2×4や軽量鉄骨住宅等、壁厚の少ない住宅は注意
(グラスウール厚100mm以上必要)

三省連携

こどもエコ住まい

断熱材：最低使用量以上
給湯器：高効率給湯器

◀ グラスウール使用可能で部分断熱も可能だが、補助額が低い
(天井断熱材全体 = 40,000円)
(天井断熱材部分 = 20,000円)

先進的窓リノベ

給湯省エネ

家庭用燃料電池・ハイブリッド
給湯機・ヒートポンプ給湯機

長期優良住宅化リフォーム

【必須】LDK とその他居室1室
以上の開口断熱 + 高効率給湯器等

断熱材：グラスウール以上
(R値：外壁床 2.2 天井 4.0)
給湯器：高効率給湯器等

◀ 製品は熱抵抗値を満たせばOKなのでグラスウールも安心して使える。高性能断熱材(ボード系)は補助額が高い。

次世代省エネ建材

【必須】居室に断熱ボード施工
断熱材：ボード系のみ
(R値：床 2.2 天井 2.7)
給湯器：なし

◀ 必須工事の「断熱ボード」施工は壁や天井を壊すことなく施工可能。その他の断熱材はボード系のみ。

壁床天井断熱工事の場合は、①施工部位②施工範囲③全体予算」で制度を選択

■ その他工事で考える ■

既存住宅における断熱リフォーム支援事業		玄関ドア 熱貫流率 4.65 以下 家庭用蓄電システム等
【福岡県】 既存戸建て住宅断熱改修費補助金 福岡県内の戸建て住宅（他県の施工業者可） 耐震性必須		玄関ドア 熱貫流率 4.65 以下
三省連携	こどもエコ住まい	玄関ドア・高断熱浴槽・節湯水栓・節水便器その他
	先進的窓リノベ	
	給湯省エネ	
長期優良住宅化リフォーム 【必須】LDK とその他居室 1 室以上の開口断熱 + 高効率給湯器等		玄関ドア・高断熱浴槽・節水便器・耐震改修・屋根葺替え・外壁塗装 等
次世代省エネ建材		玄関ドア 熱貫流率 2.33 以下 調湿建材

◀ 断熱工事メイン

◀ 断熱以外の水廻り設備交換はエコ住まいが使いやすいが、補助額が低い

	例)高断熱浴槽	節水便器	キッチン対面化
・エコ住まい	27,000円	20,000円	89,000円
・長期優良	60,000円	29,000円	230,000円

◀ 補助金対象工事が幅広く、劣化した外装の改修や耐震・断熱化・省エネ設備など、家全体性能を上げる工事が想定されている。

※インスペクションをして家の状況を知りたい！
という方に最適

◀ 断熱工事メイン

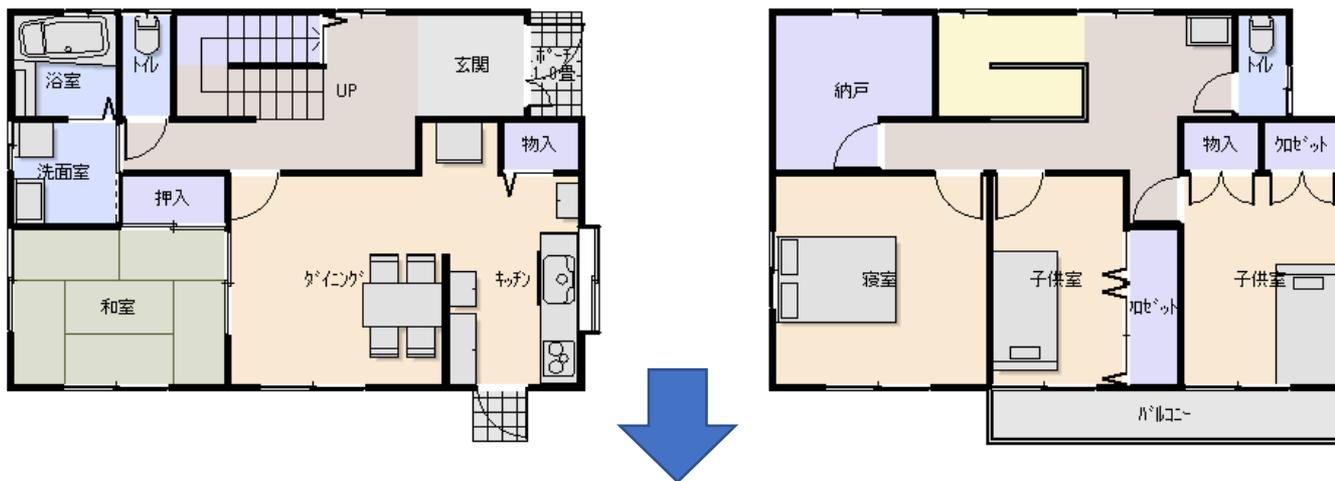
その他工事が多い場合は三省連携か長期優良住宅化リフォームのいずれかが良いが、外壁屋根工事や、在来浴室のUB化、耐震改修等がある場合は「長期～」がおすすめ。

4 部分断熱／全体断熱



お施主様の希望＝部分断熱

- ①LDKと洗面所の窓に内窓／玄関ドアを断熱ドアに
- ②1階の床下に断熱材が入っていないので入れたい
- ③補助金を使いたい
- ④水回りは7年前に取り替えたので不要

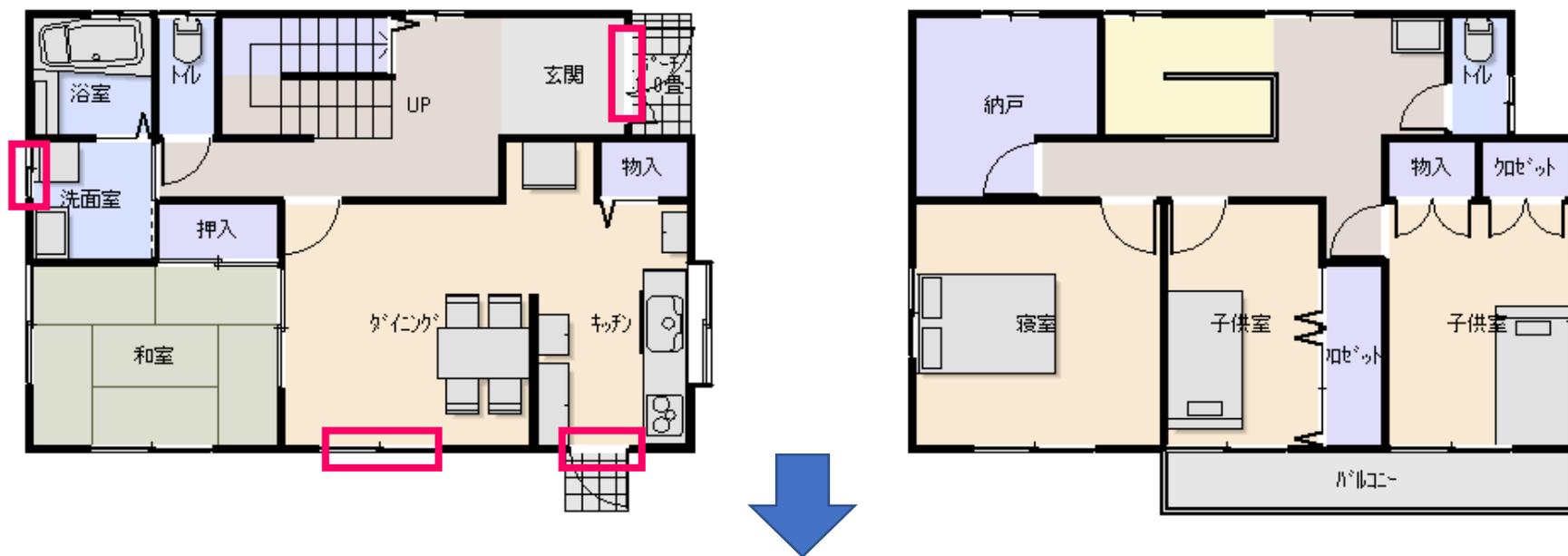


水回りを扱わないので壁や床を剥がしてのリフォームは不向き
なため、三省連携事業1本で考える

希望工事内容＝部分断熱

①LDKと洗面所の窓に内窓／玄関ドアを断熱ドアに

②1階の床下に断熱材



三省連携 ・ドアが2、内窓が2なので「こどもエコ住まいで64,000円＋
窓リノベAグレードで99,000円」＝合計163,000円
・床断熱材はこどもエコすまい部分断熱で69,000円
補助金額 232,000円(内窓がSグレードならプラス21,000円)

施工事例



既存床材を解体せずに床下から断熱材を施工

床施工が簡単、確実に！ アクリア Uボード

床用

不織布のついた、剛床タイプ。透湿性を備えた高性能グラスウールです。

 Safe & Clean アクリア Aclear Uボードピンレス α アルファ

 Safe & Clean アクリア Aclear Uボードピンレス



熱伝導率
0.032
W/(m·K)



断熱等性能等級4対応仕様例
床(その他の床)【剛床タイプ】
1.2.3地域
アクリアUボードピンレス 24K120mm
4地域以南
アクリアUボードピンレス 24K80mm

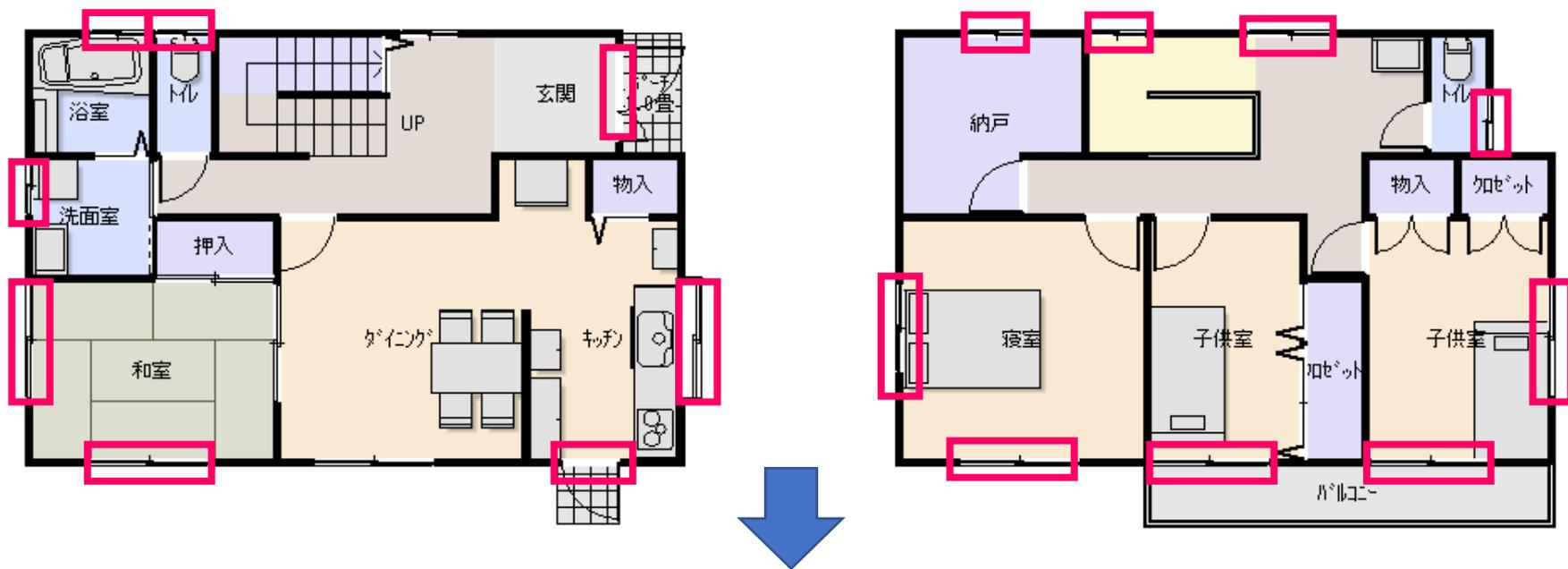
根太床、外気に接する床にはアクリアUボードNTをご用意しております。

特長

- 受け金具等は基本的に不要。施工性に優れています。
- 適度な弾力性があり、隙間のない断熱施工ができます。
- 水蒸気を通しやすい素材ですので、床合板の湿気を逃します。必ず不織布を下に向けて施工してください。

希望工事内容＝全体断熱

- ①全窓をアルミ樹脂複合窓のLow-e複層ガラスガス入りに交換
- ②壁床天井に断熱材施工
- ③水回り交換



次世代省エネ建材内張断熱 + こどもエコ住まい支援事業(水回りのみ)

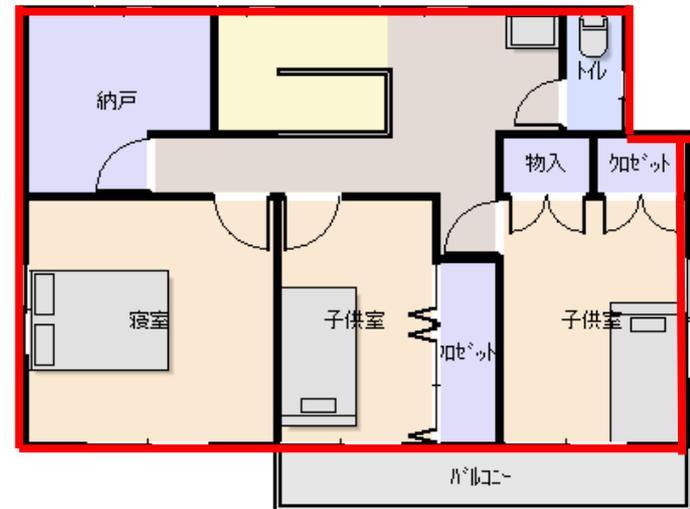
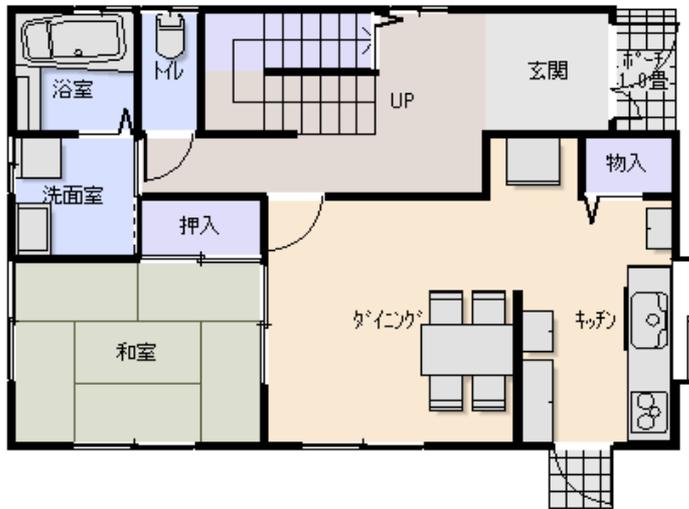
- ・窓交換はほとんどが「雨戸付・面格子付」なので次世代省エネ建材が最適
- ・床材を張り替えるので床解体後にボード系。天井は室内側から断熱パネル施工
- ・壁断熱材はグラスウールにして補助金申請なし 次世代補助金額 約180万円

施工事例 天井

次世代エネ建材で壁に断熱パネルを施工するのが困難な場合は、天井の外皮面に室内側から施工すれば必須要件を満たします。



天井の外皮面

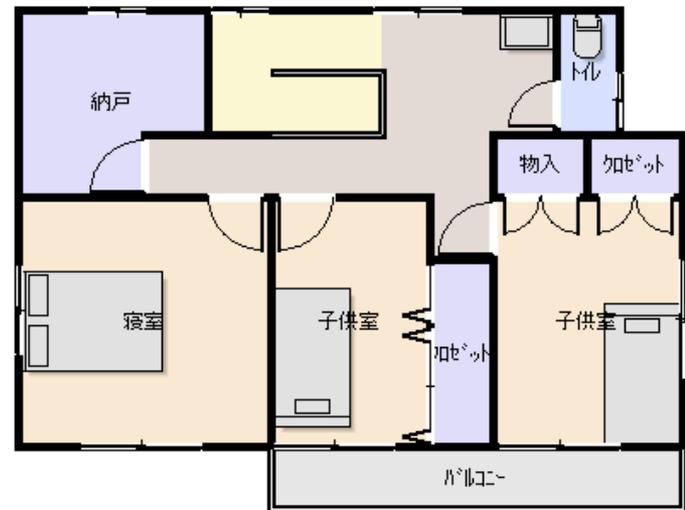
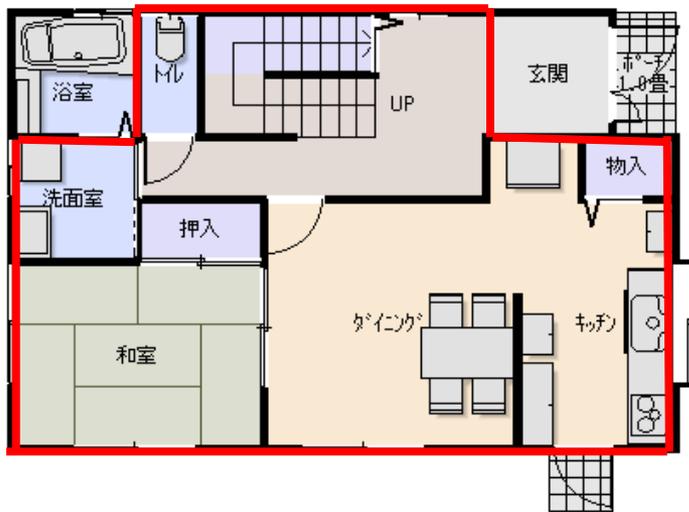


施工事例 床

間取り変更やフルリノベ等で床を剥ぐ場合は、室内側から根太や大引間にボード系の断熱材を入れるので、床下にもぐる工事に比べると手間がかかりません。



床の外皮面



■ 断熱材は、厚みに注意 ■

断熱材：グラスウール以上
(R値：外壁天井 2.7・床 2.2)
給湯器：なし

断熱材：グラスウール以上
(R値：外壁天井 2.7・床 2.2)
給湯器：別枠で有

断熱材：最低使用量以上
給湯器：高効率給湯器

家庭用燃料電池・ハイブリッド
給湯機・ヒートポンプ給湯機

断熱材：グラスウール以上
(R値：外壁床 2.2 天井 4.0)
給湯器：高効率給湯器等

【必須】 居室に断熱ボード施工
断熱材：ボード系のみ
(R値：床 2.2 天井 2.7)
給湯器：なし

熱抵抗値(R値) = [厚さ] ÷ [熱伝導率]

厚さの単位は(m)、熱伝導率の単位は(W/mK)、熱抵抗値の単位は(m²K/W)。

【例1】グラスウール断熱材16K(熱伝導率:0.045W/mK)
厚さ100mm(0.1m)
 $0.1 \div 0.045 = \text{熱抵抗値 } 2.222(\text{m}^2\text{K/W})$

【例2】グラスウール断熱材24K(熱伝導率:0.034W/mK)
厚さ100mm(0.1m)
 $0.1 \div 0.034 = \text{熱抵抗値 } 2.941(\text{m}^2\text{K/W})$

【例3】グラスウール断熱材24K(熱伝導率:0.034W/mK)
厚さ150mm(0.15m)
 $0.15 \div 0.034 = \text{熱抵抗値 } 4.411(\text{m}^2\text{K/W})$



ボード系断熱材だと厚みが薄くなる

【例3】ボード系断熱材(熱伝導率:0.02W/mK)
厚さ45mm(0.045m)
 $0.045 \div 0.02 = \text{熱抵抗値 } 2.25(\text{m}^2\text{K/W})$

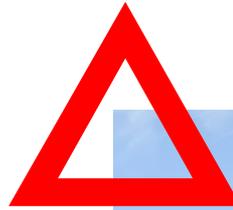
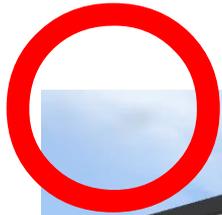
床のR値 2.2以上 を満たすためには、熱伝導率0.02の断熱材で45ミリを使えばOK！

外張断熱

次世代エネ建材では、外張り断熱に300万円の補助金が出ます。統計を見ても、近年外張り断熱工事が増えてきています。

- ・総二階の家
- ・平屋

などは、外張り断熱工事がしやすいので、トライしてみたいですね。



総二階でなくても、「屋根葺替え工事」と同時工事なら、外張断熱を検討してもいいかも。

5 補助金申請例



2023年次世代省エネ建材(内張断熱)

※交付申請審査待ち中



次世代省エネ建材

申請額 1,500,800円

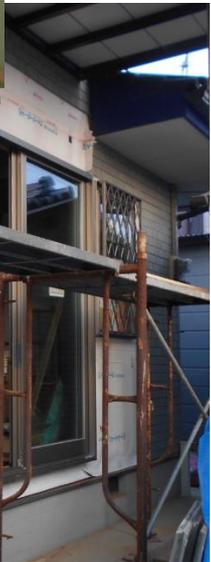
- ・壁断熱パネル (必須工事)
- ・床断熱材
- ・窓交換 9カ所

同じ工事を三省連携で試算

- ・先進的窓リノベ 722,000円
 - ・こどもエコすまい
床、壁、天井 全体断熱 221,000円
- 合計 943,000円

2019年：長期優良住宅化リフォーム

2023年：先進的窓リノベ



1階のフルリノベで壁床天井と窓の断熱と耐震改修をしたので冬でも半袖でビールが飲めるほど快適になりましたが、反対に2階の寒さが際立つようになりました。

今年、2階と階段の窓に内窓をつけたら、寒気がやわらぎ、高額補助金ももらえてよかったです。

朝倉市 O様

長期優良住宅化リフォーム評価基準型 100万円

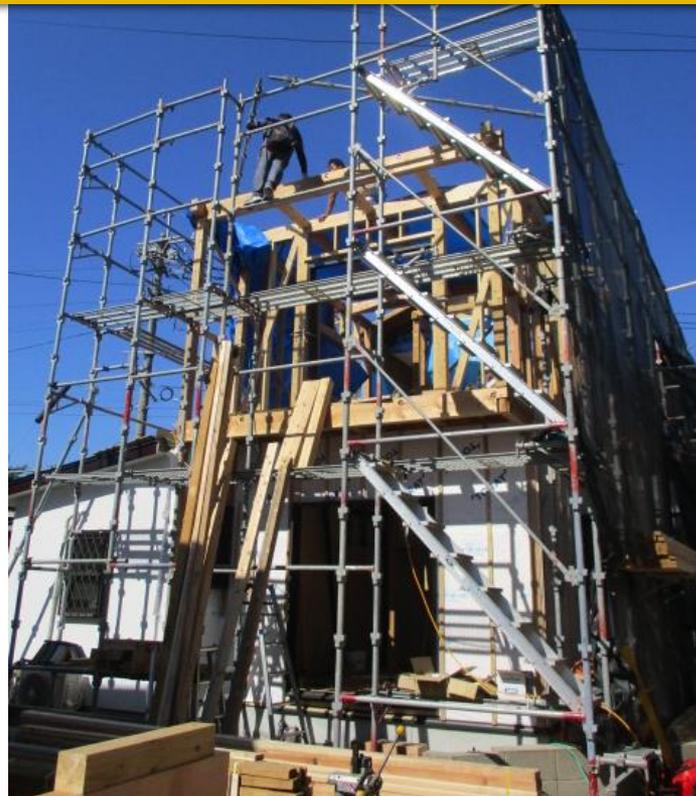
先進的窓リノベ (内窓7カ所) 348,000円

2021年：長期優良住宅化リフォーム 100万円

地震や台風がこわくて耐震リフォームをお願いしたけれど、実際にリフォームが終わると、断熱改修した部屋の冬の暖かさに感動しました。

2～3部屋のドアを開けばなしにしておいても、ファンヒーター1つで充分暖かいので、薄着で動き回れます。

夏もエアコン1台で充分でした。



筑前町 T様



2022年：福岡県既存戸建て住宅断熱改修費補助金+こどもエコ住まい



福岡市 H様邸

断熱改修がメインで、壁をこわして断熱材を入れるために、ご家族全員引っ越しでのリフォームとなりました。

12月着工予定で、時期的にほかの補助金制度が終わっていたので、福岡県の補助金を申請し、水回りはこどもエコすまい補助金で申請しました。（こどもみらいで申請予定だったが終わってしまったのでエコすまいに変更）

2×4住宅で壁厚が薄いため、壁の断熱材についていろんな工法で見積もりしましたが、グラスウール以外の断熱は費用がかかるので、補助金対象とならないグラスウール施工で決着しました。（壁厚薄いとR値を満たさない）

窓はアルミ樹脂複合窓のLow-e複層ガラスアルゴンガス入りで全窓交換です。

無断熱に近い状態から、フル断熱へとリフォームしたため、換気には十分に気をつけていただくよう説明しています。

福岡県断熱補助金 664,000円
こどもエコすまい 120,000円

2020年：長期優良住宅化リフォーム

2021年：次世代省エネ建材(内張断熱)



中古住宅購入前から相談のあった住宅で、フラット35のローンを利用でした。耐震性の確保が要件なので、長期優良住宅化リフォームで耐震改修と断熱改修がメインです。

住宅購入資金も必要で、予算の都合上あまり大がかりな工事ができないため、メインとなるLDKの壁床天井および窓の断熱と、外壁屋根塗装、ユニットバス、防蟻工事等に限定しました。

翌年以降、断熱改修をしなかった部屋がとても寒いため、次世代省エネ建材でほかの部屋の壁断熱と小屋裏断熱、内窓設置をしました。

数年かけて補助金を利用しながら断熱改修をすすめる例も増えてきました。



長期優良住宅化リフォーム

640,000円

次世代省エネ建材

805,800円

先進的窓リノベはすでに多くの方々の認知を得ているように、内窓は生産が追いつかないなど、昨年のこともみらい住宅支援事業のように年度途中で予算がなくなってしまう可能性は十分に考えられます。

その時期に申請可能な制度を利用しながら、満足度の高い断熱改修をご計画ください。